

建設業者団体の長様

「ほっかいどう応援団会議」のご案内

日頃から道政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

道では、多様化・複雑化する地域課題の解決に向けて、民間の皆様の知恵やノウハウをいただき、ともに北海道の未来づくりに取り組んでいくことが必要との考えのもと、北海道に想いを寄せていただいている方々のネットワークとして、令和元年に「ほっかいどう応援団会議」を立ち上げました。

これまで600を超える企業・団体、特に道内の建設産業からは約40 社の皆様にご参加いただき、資金面でのご支援や協働活動など、力強い応 援を賜っていることに、改めて感謝申し上げます。

応援団会議は、北海道を「応援したい」という方々のネットワークであり、<u>これまで道や市町村への応援実績がなくても参加いただけるととも</u>に、参加にあたり費用負担もございません。

また、参加企業の皆様には、北海道の応援につながる情報を幅広く発信するほか、「ほっかいどう応援セミナー」の開催、ポータルサイトにおける応援実績などの発信をさせていただいております。

建設産業の担い手確保や育成など、地域や業界における課題の解決に向けては、官民連携による取組がますます重要となっており、応援団会議はその礎となるものと考えております。是非、ご参加ください。

北海道総合政策部 官民連携推進局

担当:主幹(建設) 青井 大(あおい だい)

公用個人スマホ:011-585-6103

音声ガイダンス後 (32936)

局直通: 011-204-5158 (内線 23-482) E-mail: aoi. dai@pref. hokkaido. lg. jp

【お申込み方法】

○ 別添の「ほっかいどう応援団会議」参加申込書に必要事項をご入 力の上、担当あてにメールでお送りください。

(宛先)

北海道総合政策部官民連携推進局 青井

E-mail: aoi. dai@pref. hokkaido. lg. jp

※FAX の場合: 011-232-2743

○ 記載にあたっては、記載例を参考としてください。 なお、応援団会議のポータルサイトにおいて、ご参加いただいた 企業様をご紹介させていただいており、参加申込後、掲載内容等に ついて調整させていただきます。

[Q&A]

(応援団会議とは)

〇 「ほっかいどう応援団会議」は、会議という名称ではありますが、 一般的な会議体ではなく、北海道を元気にしたい、応援したいという 企業・団体、個人の皆様のエール(応援の想いや取組)を見える化す るためのネットワークです。

(メリット)

○ 参加企業等の皆様と道・市町村の<u>交流の場として開催する「ほっかいどう応援セミナー」への参加</u>(R4 年度は札幌、東京で開催)や、<u>企画(協働プロジェクト等)のご相談</u>をいただけるとともに、ポータルサイトにおいて、企業紹介や応援実績の発信などをさせていただいています。

(応援方法)

〇 道や市町村への資金面での支援

例:企業版ふるさと納税などによる寄附・協賛、寄贈

〇 道や市町村との協働活動

例:建設産業の担い手確保・育成に係る取組(現場見学会、出前講座等) ふれあいの街クリーン事業(道路美化、花植等)

市民団体協働の川づくり事業(河川の草刈り、樹木伐採)

〇 その他、北海道を元気にする活動

「ほっかいどう応援団会議」参加申込書

令和	年	月	В

■企業・団体情		
名 称		
	(役職・氏名) 	
所在地	F –	
URL		
等に関する 者(暴力団	願いします) 体)は、「ほっかいどう応援団会議」への参加にあたり、暴力団員(暴力団員による不当 法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員(以下同じ。))又は暴力 員が実質的に経営を支配する事業者その他同条第2号に規定する暴力団又は暴力団員と程 者をいう。)に該当しない者であるとともに、今後、これらの者とならないことを誓約し	カ団関係事業 密接な関係を
応援実統		
	ī町村に対する応援実績についてご記入下さい。 	
〈実績の有 □ □ 実	[・] 無〉 績あり □ 実績なし	
□協	金面での応援(企業版ふるさと納税・その他寄附など) 働活動による応援(自治体との連携協定・タイアップ事業など) 業活動を通じた応援(企業立地、道産品の販路拡大など)	
応援の検記 道や道内市	対状況 i町村に対する応援の検討状況についてご記入ください。	
〈検討状況 □ 予	〉 定あり □ 検討中 □ 今後検討	
□ 資 □ 協	〉 ※「予定あり」「検討中」の場合、以下にチェックをお願いします。(複数可) 金面での応援(企業版ふるさと納税・その他寄附など) 働活動による応援(自治体との連携協定・タイアップ事業など) 業活動を通じた応援(企業立地、道産品の販路拡大など)	
□ ₹ □ ₹		
ご担当者様連	·····································	
住 所※	〒 − ※「企業・団体情報」の所在地と同一の場合は記載	載不要です。
所属·役職	氏 名	
電話	E-mail	

お問合せ 北海道総合政策部官民連携推進局 担当:青井

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 TEL: 011-204-5158 (直通) FAX: 011-232-2743

E-mail: aoi.dai@pref.hokkaido.lg.jp

「ほっかいどう応援団会議」参加申込書【記載例】

令和 年 月 日

■企業・団体情報

—··· —·· · · · · · · · · · · · · · · ·	
名 称	道庁建設株式会社
代表者	(役職・氏名)代表取締役社長 道庁 太郎
所在地	〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目
URL	hkd-ouendankaigi.jp

(↓チェックをお願いします)

☑ 当社(団体)は、「ほっかいどう応援団会議」への参加にあたり、暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員(以下同じ。))又は暴力団関係事業者(暴力団員が実質的に経営を支配する事業者その他同条第2号に規定する暴力団又は暴力団員と密接な関係を有する事業者をいう。)に該当しない者であるとともに、今後、これらの者とならないことを誓約します。

応援実績

道や道内市町村に対する応援実績についてご記入下さい。

〈実績の有無〉	
□ 実績あり ☑ 実績なし	
│ │〈応援内容〉 ※「実績あり」の場合、以下にチェックをお願いします。(複	*h = 1 \
(心)及じる) ペーペース・大視のり」の場合、以下にアエックをの願いしより。(後	蚁 ····································
□ 資金面での応援(企業版ふるさと納税・その他寄附	など)
□ 協働活動による応援(自治体との連携協定・タイア	ップ事業など)
□ 事業活動を通じた応援(企業立地、道産品の販路拡	(大など)
□ その他 (
	<u> </u>

★ほっかいどう応援団会議ウェブサイトに掲載する実績 PR コメント

(応援団会議参加企業・団体紹介ページ (https://hkd-ouendankaigi.jp/cheering/enterprise/)

【記載例】※空欄でもお申し込みできます(内容は後日、調整いたします)。

道路施設などの社会資本整備や適切な維持管理を通じて、北海道の安全で安心な社会活動に寄与するほか、大雨などの災害が発生した際には、応急活動や迅速な復旧作業などにより道民の生命や財産を守るなど、地域の建設会社として貢献しています。

応援の検討状況

道や道内市町村に対する応援の検討状況についてご記入ください。

进八进	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			
〈検討〉	伏況〉			
	予定あり	□ 検討中	☑ 今後検討	
〈応援[内容〉 ※「予定あ	り」「検討中」の場合、	以下にチェックをお願いします。(複数可)	
	資金面での応援	(企業版ふるさ	と納税・その他寄附など)	
	協働活動による	応援(自治体と	の連携協定・タイアップ事業など)	
	事業活動を通じ	た応援(企業立)	地、道産品の販路拡大など)	
	その他(
)

【ご担当者様連絡先】

住 所※	一 - ※「企業・団体情報」の所在地と同一の場合は記載不要です。
所属·役職	氏 名
電話	E-mail

お問合せ ・ご提出 北海道総合政策部官民連携推進局 担当:青井

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 TEL: 011-204-5158 (直通) FAX: 011-232-2743

E-mail: aoi.dai@pref.hokkaido.lg.jp

☆ ^{北海道} 「アルナー・ナン」

『ほっかいどう応援団会議』への参加のお願い

~エールを北のチカラに~



応援団会議に参加していただくと、

応援セミナーへの参加

企画のご相談

道・市町村との交流の場である 「ほっかいどう応援セミナー」への 参加・つながりを創出



Web等による情報発信・共有

ポータルサイトで協働や寄附の 取組実績を幅広く発信

費用負担もございません。 ぜひご参加ください。

メルマガ等で北海道(市町村)の 応援につながる情報を共有

応援の『カタチ』はさまざま、いろいろな想いを『カタチ』にします



企業立地 道産品PR



包括連携協定 タイアップ事業



ふるさと納税 クラウドファンディング 新たなパートナーシップ構築

ふるさと等への支援

CSR、SDGsの達成

企業PR、ブランド認知